

やさしき通信

発行日
平成 29 年
10 月

肌を感じられる風も涼しさから冷たさに変わり、少しずつ冬の訪れを感じる季節となりました。お出かけの際は暖かい格好でお過ごし下さい。

イベント紹介

★9月17日に、5・6階の利用者様と敬老会を行いました。



今年の敬老会は、外部のボランティアの方を招き、日本舞踊を披露して頂きました。利用者様は、日本舞踊に合わせて昔懐かしい曲で手拍子を送ったり、一緒に歌を歌う姿が見受けられました。また、職員手作りのメッセージカードと置時計・靴下をプレゼントし、大変好評でした。おやつも日頃とは違い、敬老会の雰囲気因んだものとして飲

み物には甘酒、ジュースを提供し楽しんで頂けたご様子でした。

★9月17日に4階回復期リハビリ病棟で患者様を対象としたカラオケ大会が開催されました。青葉城恋歌、大漁歌い込み、北国の春など計10曲を皆で歌いました。初めは恥ずかしがっていた患者様も曲が進むにつれ大きな声で歌っていました。中にはカラオケ好きという事で一人でマイクを持って歌った方もいました。4階病棟では毎月1回、様々な活動や創作を企画し患者様と行っています。指先や頭を使う事で脳の活性化に繋がります。また、入行を遅らせる事ができます。また、入院中の気分転換を図る機会となり、他の患者様やスタッフと交流を深める場にもなっています。

★10月14日に病院行事があり、泉ヶ岳スプリングバレーにて毎年恒例の芋煮会が行われました。今年は9名の参加者様と理事長・副理事長・病院スタッフが参加しました。10時に病院を出発し貸し切りバスで向かいました。天気は曇りで霧が強く寒かったです。芋

煮がとても美味しかったです。味付けは仙台風の味噌味でした。レクリエーションとして希望者はリフトで付近を散策。リハスタッフと共に軽運動を行いました。みなさまも来年はぜひ参加してみてください♪



★近隣の仙台市内のイベント紹介

定禅寺ストリートジャズフェスティバルが9月9日〜10日の二日間開催されました。1991年から「仙台の秋の風物詩」として、「本来音楽は野外でやるもの」の概念をもつてはじまりました。今年は仙台に五千人以上(700組)が参加し、仙台を音楽の熱で包み込みました。今年のコンセプトは「OUR SPACE (私たちの空間)」。ジャズだけにとられずロック、ポッ

プス、ゴスペルなどジャンルは様々だったようで、みんなが一体となって楽しめるような空間で盛り上がりを見せました。